

銭湯が結ぶ地元の絆 地域密着の介護事業を展開 「サ高住」経営者の熱き想い

新井湯

新井湯(品川区旗の台、新井重太郎社長、03・3781・9926、<http://www.yuki-1010.jp/>)は、浴場、サービス付高齢者住宅(サ高住)、デイサービス、ヘルパーステーション、ケアプランセンター、訪問介護ステーションなどの介護関連事業を展開するグループ企業である。

昭和27年から当地にて浴場を経営してきたが、新井社長は日本社会の高齢化に伴って、永年通ってくださったお客様が転居先を探すことに苦労されていたり、人生の最晩年に何カ月も入浴できずにいる様子に心を痛め、銭湯としてできる地域の方々への恩返しを考えたのがきっかけである。『銭湯で地元の絆を回復させよう』という強い情熱のもと、銭湯と介護事業を結びつけた。

銭湯の営業時間前には、脱衣所



銭湯の前で、スタッフのみなさん

を使ってレクリエーションや体操、そして食事、さらに大浴場での入浴ができるデイサービスを実施し、高齢者の方々に憩いの場を提供している。また、浴場に隣接する場所にサ高住を建設し、最上階に浴室を完備。見晴らしがよく広々とした銭湯ならではのこだわりで、「ここのお風呂は最高!」と評判も高い。スタッフの明るい笑顔も多くのお客様に元気を与えている。



地域の憩いの場を提供

地域の中で地元の人々に助けられながら経営を続けてきた銭湯が、時代の変遷を敏感に感じ取り、画期的な方向転換を図った。抜本的な意識改革を遂行する傍ら、企業の根底にある地域密着、地域貢献を忘れず、少しでも地域を明るく元気にしようという新井社長の熱い想いを強く感じさせる。